

五月は消費者月間

わたしたちの身の回りに、さまざまな商品や、サービスにあふれ豊かな消費生活を送ることが出来ます。しかし一方で、山のようには積まれる商品を見て、はたしてどの商品がより安全で、品質がすぐれているかを見分けることは難しくなっています。買った商品の使用方法が分からなかったとか、粗悪品だったとか、不適切な表示のため、ケガをしたり事故を起こしたりした例もあります。



「木津薬師」



五月八日は木津薬師（光明院）の縁日です。木津にある光明院は言い伝えによると、高僧行基が開いた霊場で、光明院、普門、第一院、国生院などの伽藍が群がり読経の音が朝夕に人の心を澄ましたそうです。特に境内の薬師堂の御利益は大きく特に眼病を悩む人に喜ばれたそうです。その後戦国時代に何度も兵火に遭い、木津薬師の本尊も長い間行方不明になっていました。江戸幕府が開かれた頃、この地を開発に石井準人左、田中大炊、藤沢九右衛門の三土豪が訪れたところ、たちまち「紫の雲がたなびき、霊光が四方に発せられ」長年隠れていた

ご利用下さい 村民学資金貸与制度

村では奨学資金貸与事業を設けています。これは、今年、入学された大学生及び短大生が対象で経済的な理由で修学が困難な者（詳細は、広報よこし四月号参照）に対して奨学金を貸与するものです。申し込み期限は、五月十六日までです。ご希望の方は早目に手続きをして下さい。

問い合わせは、村教育委員会（電話三八五二二一一）まで。

村史編さんだより ⑦ 「酒造様」

横越村古文書に当村においては安永九千年（一七八〇）酒造様を譲り請、新規に酒造りを始めるに当たって揚酒小売の者には、迷惑をかけないと言った内容の一札があります。

幕府の酒造販売等は何時頃からあったのか定かでないが、初期慶長十七年（一六二二）沢海藩成立の翌年新発田城下で酒屋が二十六軒あったと「新発田市史」は述べている、此の頃を頂点に減り始めたところから、その分地方へ酒造株が移ったと考えられる。

往古の酒は今のよう清酒であったらうか、清酒ではなく濁酒「ドロク」で

あった。清酒を作るようになったのは「北蒲原郡史」によれば寛文年中沢海領三代藩主政良の頃すでに清酒が作られていた事になる。

指上申一札之事
一私儀当組（横越組）津嶋屋村御百姓庄右衛門方より酒株譲り請、当村におひて新規酒造仕候二付、村方揚酒、小売之者江指障り等申上候ては是迄之渡世失ひ迷惑之筋も可有之旨被仰聞承知仕候、此儀ハ是迄之通以来共ニ、揚酒小売ニは指障り申間敷候、依て後證一札指上申所相違無御座候以上

横越村酒造主 才吉
安永九千年三月朔日
五人組 嘉助
同 嘉右衛門
同 権助
同 三六
同 長左衛門
村御役人衆中

五人組の制定は寛文七末年五人組の組織や役割等については後日載せたいと思えます。

古文書は一部現代用語に直してあります。

村史編さんの問い合わせは、横越村中央公民館内、村史編さん室（電話三八五二四三三）まで。

小木もえ子さん(22)が 県理容競技大会優勝



▽参加資格
・本村に現住所を置く者
・本村に在する事業所に勤務する者
・横越中学校OBである者
▽申し込み、問い合わせ
・5月10日までに参加費二千元を添えて中央公民館へ
▽試合日
・5月24日から毎週(火)(水)(木)曜日の一試合

県内の理容師が腕を競う「第41回県理容競技大会」が吉田町産業会館で開催された。

小本もえ子さんは親譲りのデザイン感覚と、中学校時代からのバスケットで鍛えられた張り精神で見ると技術も向上。今の悩みは女性のカットモデルを引き受けてくれる人がなかなか居ない事だそうです。

読書感想文紹介シリーズ ⑤ 「みんなさよなら」を読んで

横小二年二組 立川 枝里子



あきちゃんへ
たちかわえりこ より
あきちゃん、わたしはかんどうしたよ。だって、てんこうするからって、たおれるぐらいがんばったんだもん。きょうしつをきれいにかざっておわかれしたかったんだね。でも、わたしはほかにできないよ。あきちゃんしかできる人はいないとおもったよ。みんなとわかれるのって、ほんとう

くんだが大すきだったので、おもったのです。かわいそうで、かわいそうで、なみだがすこしでたので、ハンカチでふいておさえたんだよ。はずかしくて、はずかしくて、たまらなかつたけど、どうしようがなかった。だっとなきたくなくてもないてしまふんだもの。

それに、ほいくえんときにも、てんこうしていった子がいるんだよ。なまえばひみつだけどあきちゃんにだけおしえてあげる。

「ちはら くみちゃん」っていうんだよ。その子が、一ばんのしんゆうだったのに、てんこうしていったら、しずかになっちゃったんだよ。その子はあかるい子だったの。だからわかるのが、つらいってわかってたんだよ。

あきちゃんもてんこうしても、がんばってね。わかれています、ともだちだよ。

地域が育てる スポーツ少年団 入団式



横越村スポーツ少年団の入団式が4月10日横越中央公民館で開かれました。今年には新たにサッカー少年団が全国組織である日本スポーツ少年団から認定されました。この他に野球少年団、剣道少年団があり、昨年より大幅に増え百三十

一人の入団がありました。このスポーツ少年団の目的はスポーツ技術向上はもちろんのこと、心と体を健全に育てることにあります。そのためには、ボランティアの十三人の指導員と父母や地域の方の協力が欠かせません。

体育協会の会長でもある佐藤栄太郎本部長からは、会場いっぱい集まった保護者の方へ協力についてのお話がありました。

事務局ではこれからは女子も入り易いスポーツ教室を開きながら、スポーツ少年団として育てて行きたいと考えているとのこと。

横越村中央公民館では、小学生を対象にバレーボール教室を開催します。

対象者 原則として小学四年生から六年生の男女

会場及び開催日
水曜（中学校体育館）
午後六時三〇分～八時三〇分
土曜（小学校体育館）
午後三時三〇分～五時三〇分

参加費 月一、〇〇〇円
申込み 問い合わせ
横越村中央公民館

社会教育ガイド

5月の中央公民館事業 〈会場は中央公民館〉

- 女性教養セミナー
期日 5月28日(出)
時間 午後9時30分
講師 高橋ハナ氏
- 菊づくり講習会
期日 5月31日(火)
時間 午後1時30分
講師 長井貞氏

- 春の文化祭
期日 6月4日～6月5日
会場 横越村中央公民館
内容 さつき展ほか

- 美術公募展
期日 6月4日～6月12日
会場 横越中央公民館

◎美術公募展に作品を出品される方は、5月9日(必着)までに申し込み下さい。
申し込み用紙は、中央公民館に用意してあります。
電話 385-2043

〈文化協会加盟団体募集〉
横越村文化協会では、平成6年度の加盟団体を募集しています。
加入希望の方は、5月10日まで事務局（村中央公民館）電話 385-2043 に申し込み下さい。



愛鳥週間
(5月10～16日)